**競技力強化のための戦略プラン**

1. **活動理念**
2. **目標**
3. 達成目標
4. マイルストーン
5. **現状分析**
6. 競技水準分析（現在の競技を取り巻く状況について）
7. 環境分析
8. 内部要因分析（自己分析）
9. 外部環境分析（社会制度、競技ルール等の影響を含む）
10. ライバル分析
11. **目標達成のための戦略**
12. ターゲットアスリート
13. 目標達成の前提条件
14. 目標達成のための戦略シナリオ
15. **目標達成を実現するための取組（目標達成のために実施すべき方策）**
16. **モニタリング及び検証・評価**
17. **本講習会を通して得た知識、知見、ネットワーク等（受講後に記載）**

**【作成にあたっての注意事項】**

1. 各項目は不足ないように記入してください。また、第三者に説明することを念頭におき、論理的　かつ読みやすい内容でまとめてください。特に「３．現状の分析」、「４．目標達成のための戦略」、「５．目標達成を実現するための取組」、「６．モニタリング及び検証・評価」については、抽象的な表現ではなく、必要に応じて数値や図表などのデータを活用のうえ、具体的に記入してください。
2. 競技団体への要望書や提案書ではなく、ご自身の目標とする大会、競技結果に向けた戦略プランとして作成してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **競技名・種目名** |  |
| **受講番号** |  |
| **ふりがな** |  |
| **氏名** |  |

1. **活動理念**

|  |  |
| --- | --- |
| ビジョン* 将来あるべき姿（ありたい姿）であり、目標とする大会以降も見据えた将来像
 |  |
| ミッション* 目標の大会に向けて果たすべき役割・使命・存在意義。
 |  |
| バリュー* 目標の大会に向けて活動するチームにおける共通の価値観、チームが大切にすべきこと。
 |  |

1. **目標**
2. 達成目標

|  |  |
| --- | --- |
| 目標とする大会（年度、大会名） | 目標とする競技結果（順位、記録等） |
|  |  |

1. マイルストーン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 目安とする大会（大会名） | 目標に向けた進捗の目安（順位、記録等） |
| ２０１６年 |  |  |
| ２０１７年 |  |  |
| ２０１８年 |  |  |
| ２０１９年 |  |  |
| ２０２０年 |  |  |
| ２０２１年 |  |  |

1. **現状分析**
2. 競技水準分析（現在の競技を取り巻く状況について）
3. 環境分析
4. 内部要因分析（自己分析）

|  |  |
| --- | --- |
| 強み |  |
| 弱み |  |

1. 外部環境分析（社会制度、競技ルール等の影響を含む）

|  |  |
| --- | --- |
| 機会 |  |
| 脅威 |  |

1. ライバル分析

※どのようなライバルがいるのか、ライバルとの競技力の差など

1. **目標達成のための戦略**
2. ターゲットアスリート
3. 目標達成の前提条件

※「３．現状分析」を踏まえ、目標を達成するために必要となる要素を分析する。

1. 目標達成のための戦略シナリオ

※理想（目標）と現実（現状分析）のギャップを埋めるための一連の工程について記載する。

1. **目標達成を実現するための取組（目標達成のために実施すべき方策）**

※戦略シナリオの中で具体的に実施することを記載する。

1. **モニタリング及び検証・評価**
2. パフォーマンスの構成要素
3. パフォーマンス指標（パフォーマンスが向上しているのかを確認するための指標）

※パフォーマンスの構成要素をどのように測定するのか。

1. 検証・評価

※目標達成に向けた進捗をどのように検証し、評価するのか。時期や体制についても含む。

1. **本講習会を通して得た知識、知見、ネットワーク等（受講後に記載）**